

諸外国における標準化に係る取組み(概要)

2010年2月16日

株式会社三菱総合研究所

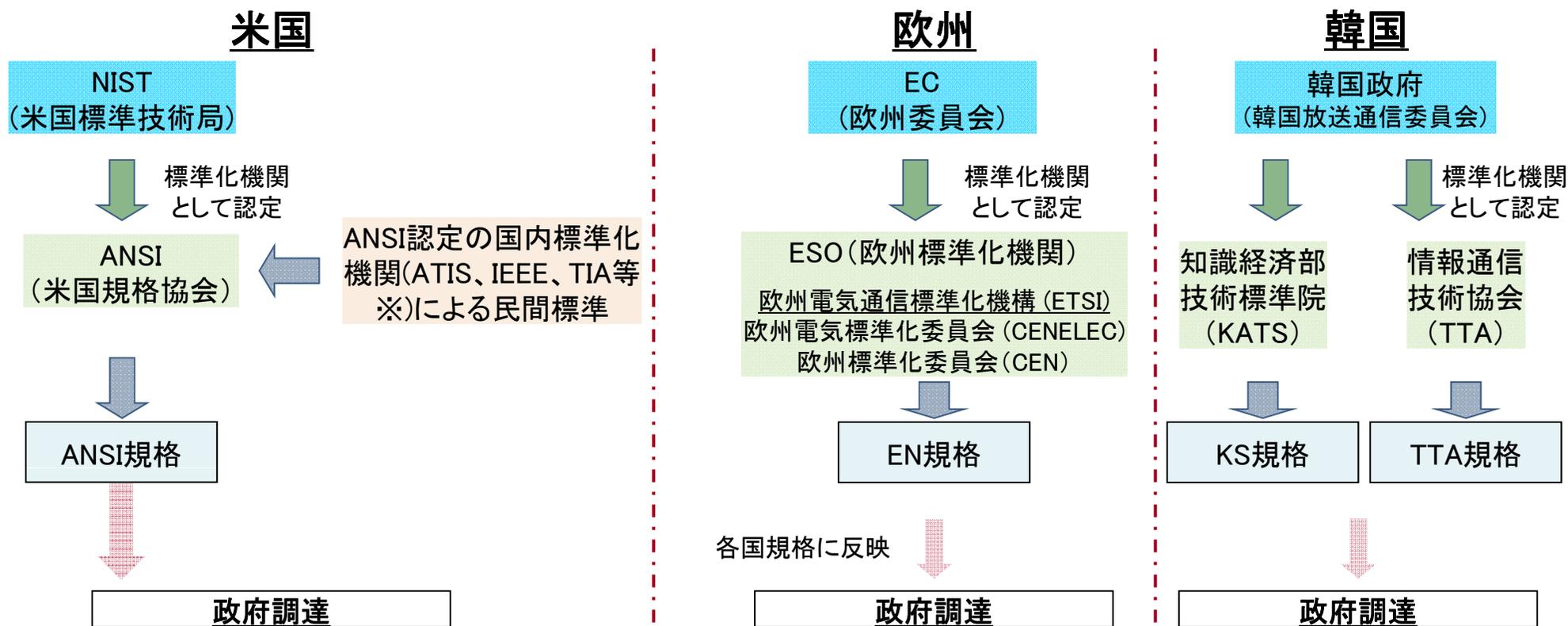
諸外国の標準化関連政策に関するまとめ

- 米国 — 「予算」を活用した技術開発と民への技術移転に重点を置いている。
- 欧州 — 民の発意による技術開発・標準化活動に関する支援を行っている。
- 韓国 — 官のプランによる技術開発・標準化活動に関する支援を行っている。

	米国	欧州	韓国
研究開発予算	<p>軍事関連を含む研究開発予算総額は年間約1440億ドル(約12.5兆円)を拠出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ICT分野(NITRD) 39億ドル(約3500億円) ■ 国で開発した技術の民間への移転(年間約10000件) ■ CRADAによる共同開発(年間7000件) ■ GRANTによる開発費用の補助(開発費用全額から1/2を国が負担) 	<p>FP7(第7次フレームワークプログラム、2007～2013年)での研究開発予算総額として約505億ユーロ(約6.2兆円)を拠出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ICT分野 約90億ユーロ(約1.1兆円) 	<p>IT-Korea未来戦略として、IPTV、WiBro、3DTV等を対象に今後5年間で総額189兆ウォン(約15兆円)を投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 政府分1兆円、民間分14兆円
標準化プロセス	<p>政府機関NISTに標準化を行う組織として認定されるANSIでは、標準化そのものは行わず、ANSIが認定する組織で策定された民間標準を採用する。</p>	<p>欧州委員会(EC)が定めるESO(欧州標準化機関)によりEN規格が策定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ICT分野のESOはETSI(欧州電気通信標準化機構) 	<p>知識經濟部技術標準院(KATS)によりKS規格が策定される。</p> <p>情報通信技術協会(TTA)がICT分野における規格を定める。</p>
政府調達における標準の採用	ANSI規格に基づき調達	EU域内で定められたEN規格および各国の標準に基づいて調達	KS規格の製品を優先的に購買させる制度を法的に制定
標準化活動への支援	NISTからANSIの国際的な標準化活動に50万ドル(約4500万円)を拠出している。	<p>FP7ではCoordination and Support Actionsとして、一部標準化活動費用に充てられている。例えば、RF-IDの標準化活動予算に53万ユーロが拠出されている。</p> <p>ETSIの事務局運営費用として、合計4.7百万ユーロ(約6億円)をECが拠出</p>	<p>TTAでは、国際標準化活動にかかる出張費用等を負担。韓国政府が規格認定を含む運営費(約45億円)の約60%を負担</p>
公表された方針	<p>国外へのアウトリーチ活動</p> <p>各国の標準が技術的な貿易障壁にならないように働きかける</p>	<p>フォーラム・コンソーシアムが策定した標準を採用</p>	<p>国際標準として採択されるよう積極的に活動を推進</p> <p>次世代WEB、次世代DRM等に注力</p>

諸外国の標準化組織の役割

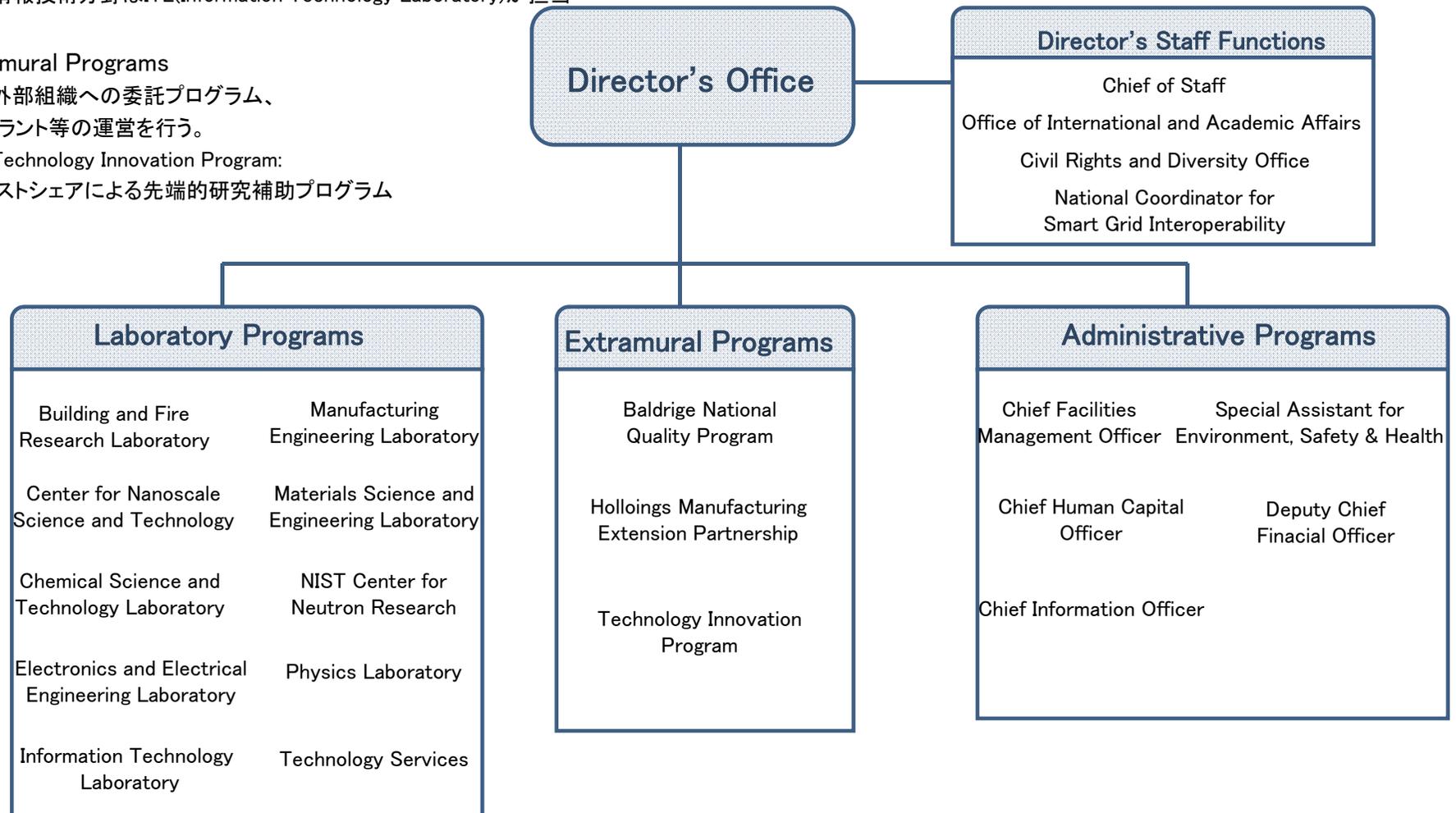
- 米国では、ANSIが認定する民間規格を公的規格として取り扱う。
- 欧州では、欧州委員会が認定する欧州標準化機関ESOがEN規格を策定。
- 韓国では、知識経済部技術標準院がKS規格を策定、ICT分野においては政府認定の機関TTAがTTA規格を策定。



※ATIS(Alliance for Telecommunications Industry Solutions)
IEEE(The Institute of Electrical and Electronics Engineers)
TIA(Telecommunications Industry Association)

(参考)NIST組織体制

- Laboratory Programs
 - 米国の製品やサービスの質の向上を目的とし、各分野において、規格に提案されている技術の評価方法や規格に適合しているかどうかを評価方法、ツール、データ、技術等を開発・提供する。
 - 情報技術分野はITL(Information Technology Laboratory)が担当
- Extramural Programs
 - 外部組織への委託プログラム、グラント等の運営を行う。
 - Technology Innovation Program: コストシェアによる先端的研究補助プログラム



(参考) ETSI組織体制

- Technical Committeesにて標準化の検討が行われる。
 - 22のTCと、国際協力を行うTC 4つがある
- 3GPP等とのパートナーシップを結ぶプロジェクト、特定業界向けのグループがある。

